

令和7年度 第1回 門司区多職種連携研修会 報告書

1. 実施概要

① 実施日時 令和7年 8月 4日（木） 19:00～20:30

② 実施場所 門司区医師会館 3階講堂

③ テーマ 「人生会議って？」
～支援者自身の価値観を見つめよう～

④ 内容 講演
グループディスカッション 「もしバナカードゲーム」を通して学ぶ

⑤ 講師 八幡医師会立はっちい診療所 所長 川本 京子先生

⑥ 参加者

種別	人数
医師	4 名
歯科医師	2 名
薬剤師	3 名
看護師	12 名
介護支援専門員	12 名
社会福祉士	5 名
リハビリ職	1 名
管理栄養士	3 名
介護職	6 名
その他（事務職等）	1 名
合 計	49 名

種別	事業所数	参加者
病院・診療所	7	7
歯科医院	2	2
薬局	4	6
訪問看護事業所	6	6
居宅介護支援事業所	11	11
介護事業所	3	5
介護施設	1	1
行政	1	2
連携支援センター	4	9
合 計	39	49

※実行委員含む

他講師 1 名

⑦ 内容

時 間	内 容
18:58～19:00	事務連絡（司会進行 川端歯科医院 院長 川端 賢一先生）
19:00～19:03	開会挨拶 （門司在宅医療・介護連携支援センター担当理事 白川 伸一郎先生）
19:04～19:05	講師紹介（座長：辻医院 院長 辻 雄一郎先生）
19:05～19:40	ご講演（八幡医師会立はっちい診療所 所長 川本 京子先生）
19:40～19:45	質疑応答
19:45～20:15	もしバナカードゲーム（グループディスカッション）
20:15～20:22	発表
20:22～20:28	講師まとめ
20:28～20:30	閉会の挨拶（門司歯科医師会会長 新田 洋司先生）



2. アンケート

1. 職種について 回答数 35（回答率71.4%）

職種	
医師	2
歯科医師	0
薬剤師	2
保健師・看護師	7
介護支援専門員	9
社会福祉士	3
リハビリ職	1
管理栄養士	3
介護職	5
その他（事務職等）	1
未回答	2
合 計	35



2. 研修会への参加動機について（主にあてはまるものに○をご記入下さい。複数回答可）

自己研鑽のため	22
もしバナゲームを体験したかったため	13
他事業所と顔の見える関係を作りたい	1

テーマに興味があったため	21
職務の一環として	7

3. 本日の研修会はいかがでしたか。該当するものをひとつ選んで下さい。

大変参考になった	29
どちらとも言えない	0
全く参考にならなかった	0

参考になった	6
あまり参考にならなかった	0
合計	35

上記を選んだ理由を教えてください。

講義の中で多くの事例をお話していただき、とてもわかりやすかった。人生の最終段階で望むことが一人一人違い、家族の形も違うことを改めて認識できた。
人生の最期と、暗い話と考えるのではなく少しずつでも会話する事で心も穏やかになると思った。
在宅医療で、ACPを行うタイミングがわかった。もしバナゲームを体験して、自分の価値観を実感できた。人それぞれ価値観が違う事を感じた。
実際の診療や体験に基づく講演が聞けたことやもしバナの参加者の様子からその方の人生に基づく選択やエピソードが共有できたこと

4. これまでにご自分の人生の最終段階について考えた事や大切な人と話し合った事がありますか。

考えたことがあるが話し合っていない	17
考えて話し合いたいと思っている	13
話し合いたいけど話し合ってくれない	1
その他考えたことがあり少しだけ家族と共有した・話し合いを両親とした	2

考えたことも話し合ったこともない	2
考えたくない・話し合いたくない	0
考えて話をしている	1

5. 日々の患者さん、利用者さんとの関わりの中で人生会議（ACP）を実践されていますか。

実践している	9	実践していない	26
--------	---	---------	----

①実践しているとお答えの方へ

実践するにあたり工夫されていることや良かったことなどあれば教えてください。

支援をする上で患者さんが大切に思っている事を基に支援を考えるとうまくいく事が多い。
いつ、どのタイミングですか、また、メンバーは誰を選ぶか。
初回面談、1～3ヶ月後など人生観や家族との関係性などを聞きながら。
相手の心の準備性に配慮しながら話をしていく。
日頃の会話の中から拾い出す。訪問看護開始時、状態変化時に話をしている。

②実践していないとお答えの方へ。実践されていない理由があれば教えてください。（複数回答可）

タイミングがわからないから	12
どのように進めたらよいかわからないから	10
本人の思いを家族や周囲の人と共有するのが難しいから	4
認知症などで本人の意思確認が難しいから	4
時間が足りないから	1
医療の知識が必要だと思うから	1
他職種の理解が得られないから	1
その他（必要だと思っているがなかなか話し合うことができないことが多い。情報を持っていなかった。今日初めて体験しました。基本的に医師、看護師がすると思っていた。今までにそのような機会がなかった高齢者はこのようなことを考えたくないと言われることが多い	6

6. ACP（人生会議）について学びたいことや難しいと感じる点など、自由にご記入下さい。

医療関係者以外の事、話を聞いてみたい。
多職種で連携しその人らしさを支えたいと思うが、ACPに対する理解力の差や温度差がある
家族間で話すには、タイミングや家族の理解が難しいと感じる
タイミング、共有する方法、など具体的にどうするか知りたい。

7. 本研修会についてのご意見・ご感想や今後希望される研修会等ご記入下さい。

大変参考になりました。ぜひまたヘルパーさんたちとしてみたいです。
これまでなかった研修形式、内容であるが今一番関心がある内容だった。
職種によっていろいろな価値観があるのが面白かった。